NIE実践報告

1．タイトル：**☆新聞を効果的に生かす授業の工夫「メディアリテラシー」**

2．学校名

熊本県荒尾市立荒尾第一中学校

3．実践者名（代表者名）

**佐藤　圭一**

4．学年

**第3学年**

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

**国語　38人**

6．単元（本時の学習課題）名

「メディアリテラシー」

7．目標(狙い)

情報化社会におけるメディアの接し方について考えを明らかにし、新聞を比較して読むことで、メディアリテラシーの必要性を理解する。

8．評価の視点

新聞記事を比較して読むと、扱っている内容は同じでも、伝え方によって異なる印象を受ける。だから、メディアリテラシーが必要であることを理解する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

**「メディアリテラシー」(教科書教材:三省堂)4時間**
**「主張文を書こう」(作文・発表)7時間　　合計11時間**

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

**①全文を読んで「メディアリテラシー」とは何か、本文に即して読み取る。(1時間)**
**②ニュースが伝える「現実」について、「メディアリテラシー」と関連させて理解する。(1時間)**
**③新聞記事を比較して読むことで、その違いに気づき、「メディアリテラシー」の必要性を確認する。(1時間)**
**④「メディアリテラシー」の必要性について理解し、自分の考えをまとめる。(原稿用紙400から600字)(1時間)**
**(留意点)**
**・ニュースが伝える現実とは何か、具体例をもとに考えさせる。**
**・立秋を扱った記事(教科書)を見て考え合うことで、比較の仕方を知る。**
**・自分の日常生活と関わらせて考えさせる。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

**新聞を読まない生徒も新聞を読むのが楽しいと思えるようになった。**
**自分の考えを根拠を明らかにして文章が書けるようになった。**

12．成果と課題

**複数の新聞記事を比較して読むことで、「メディアリテラシー」の必要性を感じることができた。また、普段からあまり新聞を読まない生徒が読むきっかけになったのはよかった。今後はコラム記事の活用をしていきたい。**